

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		青少年育成		款	4	項	2	目	1	事業	4	整理番号	259
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		係名	青少年係		連絡先電話番号		4402		昨年度整理番号	249	
上位施策No・施策名		28 子どもの育成環境の整備		予算事業区分				既定事業					
事業開始		昭和	▼	29年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 杉並区青少年表彰要領 (2) 杉並区青少年育成委員会補助金交付要綱							
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)		(1) 表彰者数 (2) 育成委員数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
	○善い行いをした青少年を表彰します。 ○青少年健全育成団体に対し補助金及び助成金を支出します。		成果指標名(1)		(代)区内非行件数								
		算定式・指標の説明等		成果指標名(2)							算定式・指標の説明等		
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%	17×55 前年比-5%
指標	活動指標(1)	① 人・団体	実績	計画	実績	計画	実績	130	125	130	96.2	96.2	
	活動指標(2)	② 人	907	921	915	920	937	935	100.2	101.8			
	成果指標(1)	③ 件	268	241	219	197	221	210	105.2	112.2			
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	18,481	18,256	18,145	17,262	17,103	18,402	21年度予算執行率%		99.1		
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦ 千円	0	354	296	335	290	386					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	0.95   1.80	1.60   0.00	1.60   0.00	1.60   0.00	1.90   0.00	1.60   0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	8,683	14,480	14,480	14,206	16,870	14,206				
		(内)非常勤職員分	⑩ 千円	4,986	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	32,150	32,736	32,625	31,468	33,973	32,608					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫ 円	518,548	327,360	291,295	242,062	271,784	250,831					
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭ 千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮ 千円	/	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯ 千円	/	0	0	0	0	0					
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰ 千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源⑪-⑰		⑱ 千円	32,150	32,736	32,625	31,468	33,973	32,608					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 259

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み  ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		表彰式の実施	2	回	908
		青少年育成委員会助成	17	団 体	15,772
		ボーイ・ガールスカウト共催事業	3	回	329
		その他 ( 未成年の飲酒・喫煙防止キャンペーン )			94
	(2)事業実績				
事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化	青少年の学校内外におけるボランティア活動などが、豊かな人間性、社会性を養うため必要であるとの認識が高まっています。また、平成18年度から都立高校において奉仕の時間が授業に取り入れられます。少子化となり、育成事業の対象者が小学生向けとなり、中学生対象の事業参加者が少なくなっています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	育成事業について、様々な団体で実施して重複しています。地域のつながりの希薄化が進む中、地域の育成団体の事業を実施することにより、地域の連帯が強められました。			
	今後の予測	育成団体の構成がいずれの団体も高齢化が進んでいく中で、PTAの果たす役割が重要となってきます。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓)		各育成団体の事業は、子どもが様々な体験をし、社会性を身につける機会になっています。善行の表彰を広く社会に知らせることにより、善意の気運が高まり、子どもが健やかに成長する環境づくりにつながっています。		
	②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)		これまで以上に地域や子どものニーズに的確に対応した事業内容になるよう働きかけ、より多くの子どもが参加できるよう事業の広報などを工夫しています。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)		育成委員会の活動はボランティアであるため、受益者負担はなじみません。青少年表彰も区が表彰するものであり、受益者負担になじみません。		
(4)コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容→)		育成事業については、補助金のみを財源として運営するのではなく、参加費を取るなど参加者に応分の負担を求めたり、自主財源の確保に努めるよう働きかけます。			
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[補助・助成]	(4)協働等の今後のあり方 推進			
評価と課題		育成委員会の活動は、地域における子どもたちに様々なことを体験させ、社会参加を促す良い機会となっています。しかし、小学生向けの事業が多くなっているために、社会に踏み出す直前の中高生を対象とする事業をプログラムするしくみづくりができていないため、健全で明るい地域社会を形成するための役割を果たしていません。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 本年度は青少年表彰の会場を杉並公会堂に変え年1回とし、表彰規模を拡大します。		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 来年度の実施に向けて、青少年の善行が表彰という形で評価されたあとに、他の青少年に影響が与えられるような取り組みを新たに展開していきます。		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由	青少年表彰については、今年度計上した杉並公会堂の使用料について、来年度も同様に計上します。	

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		青少年の自立応援・社会参加事業			款	4	項	2	目	1	事業	5	整理番号	260					
担当部課名		保健福祉部児童青少年課			係名	青少年係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	250						
上位施策No・施策名		28 子どもの育成環境の整備			予算事業区分				既定事業										
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	25	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業		分野	2	政策番号	2	施策番号	2	事業コード	13	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	区内在住・在学・在勤の中学生から24歳までの青少年									根拠法令等	(1) 「成人祝賀のつどい」実施要綱 (2) ユースプロジェクトすぎなみ設置要綱		
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 青少年が自立し、社会の一員としての自覚を持ち、自身の力を発揮し健やかに成長する。									活動指標名(式) (1) 成人祝賀のつどい出席者数 (2) 自立支援事業開催数								
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○青少年を対象にした、自立を支援する講座等を開催する。また、区の青少年施策について意見を述べる機会を提供する。									成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)出席者数/対象者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%	対象×50%						
指標	活動指標(1)	①	人	2,563	2,276	2,524	2,124	2,257	2,070	109.0	106.3								
	活動指標(2)	②	回	7	7	4	4	4	4	100.0	100.0								
	成果指標(1)	③	%	49	50	50	50	50	50	100.0	100.0								
	成果指標(2)	④																	
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	14,277	17,535	15,068	14,551	12,843	14,119	21年度予算執行率%		88.3							
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項									
	(内)委託費	⑦	千円	0	11,791	10,577	8,715	8,066	8,130										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.31   0.90	2.00   0.90	2.00   0.90	2.00   0.90	2.37   0.90	2.00   0.90										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	21,113	18,100	18,100	17,758	21,043	17,758									
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	2,493	2,520	2,520	2,514	2,514	2,514									
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	37,883	38,155	35,688	34,823	36,400	34,391										
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	14,781	16,764	14,139	16,395	16,128	16,614										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0									
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0									
都からの補助金等		⑮	千円	/	0	0	0	0	0										
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0										
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0										
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	37,883	38,155	35,688	34,823	36,400	34,391										
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 260

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み  ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
				成人祝賀のつどいの実施	1
		ユースプロジェクトすぎなみの運営	45	回	1,353
		青少年情報誌セドル8号の編集委員会運営・印刷	6000	部	2,139
		キッズホームページの運営	4	回	1,595
		その他 ( ジョブスタート支援講座、読書活動推進講座 )			1,214
	(2)事業実績	ジョブスタート支援講座では、対象者に対する周知が行き届かず定員に満たない講座がありました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	ニート、フリーターの増加が社会問題となっています。 成人祝賀のつどいにおける対象者の減少傾向に反比例し、参加率は増加しています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	新たな区の青少年施策としてオーダーメイドスクールを実現に結び付けましたが、その後の進め方や運営についての具体的な方策を示されるように要望されています。			
	今後の予測	青少年の自立応援、社会参加については、社会全体の風潮として今後もニーズが高まっていくことが見込まれます。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓)	青少年の自立を促進するために、青少年が社会参加しやすい環境を整えることで、自分の居場所や立場を認識し、社会の一員として貢献する意識を醸成することができます。			
	②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	事業に参加した青少年の意見や反応を検証し、事業の効果を対象の他の対象世代に広めていきます。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	経済的な理由で参加ができないなどの青少年がうまれないようにするためにも受益者負担はなじみません。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	委託費用の内訳は、講師謝礼等の最低限の費用です。			
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[委託]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	各種講座の実施に対し、対象者の把握が不十分であるため、定員に満たないケースが目立ちました。自立支援の対象となる青少年に対し、区の取り組みが伝わるような方策を講じる必要があります。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 本年度中に児童青少年センターで推進する青少年の社会参加に関わる事業について、総合的な目標を設定し、それぞれの事業が同じ到達点に迎えるように見直しを図ります。		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 対象者が類似していても事務事業ごとに予算措置がされているため、事業評価における組み直しが必要となってきます。		
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理 由 事業形態の組み直しで現状の予算を有効に活用する手法を見出すことができます。		

## 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		児童青少年センター・児童館事業の運営			款	4	項	2	目	1	事業	31	整理番号	286				
担当部課名		保健福祉部児童青少年課			係名	管理係			連絡先電話番号	4402			昨年度整理番号	276				
上位施策No・施策名		28 子どもの育成環境の整備			予算事業区分				既定事業									
事業開始		昭和	▼	41	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	2	政策番号	2	施策番号	3	事業コード	16	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 児童福祉法第1～4、7、35、40、45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則											
事務事業の概要	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		活動指標名(式)															
	センター、児童館事業の充実を図り利用者の健全な育成を助長します。中高生の意見等を反映させたセンター運営を図ります。児童館運営に必要な人材(非常勤職員)を確保し、充実した事業展開が図れるようになります。センター及び児童館職員の資質を向上させます。		(1) 年間延べ利用者数(センター及び児童館) (2) 開館日数(センター及び児童館)															
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標															
○事業運営に必要な事務用品、物品などの購入・支出事務 ○事業運営(学童クラブ含む)のための非常勤職員の採用・報酬の支出事務 ○センター及び児童館職員の研修、物品貸出、事故対応(傷害保険等)		成果指標名(1)		一日あたり平均利用者数														
		算定式・指標の説明等		利用者数÷開館日数														
		成果指標名(2)		職員実技研修参加者数														
		算定式・指標の説明等																
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%						
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)								
指標	活動指標(1)	①	人	1,412,164	1,430,000	1,404,762	1,430,000	1,200,763	1,420,000	84.6	84.0							
	活動指標(2)	②	日	13,878	13,917	13,905	13,917	13,148	13,917	94.5	94.5							
	成果指標(1)	③	人	102	105	100	105	91	105	86.7	86.7							
	成果指標(2)	④	人	585.0	590.0	622.0	590.0	628.0	640.0	98.1	106.4							
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	259,828	312,282	275,692	296,444	276,414	296,143	21年度予算執行率%		93.2						
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項								
	(内)委託費	⑦	千円	21	363	330	400	393	398									
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	29.36 0.50	27.54 0.50	29.20 0.50	28.12 0.50	29.10 0.40	27.72 0.40	○学童クラブパート雇用人数推移 19年度 116人 20年度 139人 21年度 130人 22年度 118人(4月当初) ※パート経費は事務費に含まれます。 ○学童クラブに係る事務経費は、No.287学童クラブ事業で計上しています。								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	268,350	249,237	264,260	249,677	258,379					246,126				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	1,385	1,400	1,400	1,397	1,117					1,117				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	529,563	562,919	541,352	547,518	535,910	543,386									
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	375	394	385	383	446	383									
	財源	受益者負担分	⑬	千円	4,461	0	0	1	0					1				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0					0				
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0									
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0									
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	4,461	0	0	1	0	1									
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	525,102	562,919	541,352	547,517	535,910	543,385									
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 286

21年度 の事業 実施 状況	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
(1)主な取組み  ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	パートタイマー報酬	130	人	217,823
	臨時職員賃金	358	人	32,564
	運営事務費(消耗品購入、機械器材借上げ等)	41	施設	20,455
	保険料	51	施設	4,965
	その他(消耗品等)			607
(2)事業実績				
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童館設置数(各年12月31日現在) 昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年~41館 児童青少年センターは、平成9年に全国に先駆け中高生のための児童館として竣工し、児童健全育成の拠点として事業を展開し、区民からも認知されています。また、平成17年度から実施した学童クラブの登録制により、非常勤職員の配置数が大幅に増加しました。		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	児童青少年センターは事業開始時から関係機関・マスメディアからの視察、問合せがあり、各方面から注目されています。児童館は障害児の利用しやすい環境整備が求められています。		
	今後の予測	子どもたちの安全な居場所の確保の重要性は増えています。児童青少年センターはより自主性の高い事業が多くなり、やってみたいことが実現できる場所として中高生に定着していくと予想されます。また、支援が必要な中高生が仲間作りをできる場所としての機能も増していくと思われます。また学童クラブ対応のパート職員の経費の増加が見込まれます。		
事業の あり 方 点 検	<b>左の理由または具体的内容</b>			
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	少子化や遊び場の減少、また、子どもたちを取り巻くさまざまな危険が発生している現在、区民が安心して子育てができるまちづくりには安心して遊べる場所、気軽な相談窓口が必要です。また中高生の居場所、活動拠点が求められる中、センター・児童館の存在意義は高くなっています。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→) ②成果向上のための方策	今後も学童クラブ入会希望者が継続して増加すると予測され、パート職員の配置等、予算増が必須です。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	目的外利用者を除き、主たる施設利用者が18歳未満の児童であり、児童厚生施設の設置目的からも受益者負担は不適切と考えます。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	人件費については、優秀な非常勤職員を必要人数確保するため下げることはできません。運営費については、消耗品費の価格の上昇が見込まれるため、コストを下げると現在の水準を維持できません。		
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)		
	(3)協働等の形態 協働[事業協力]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続		
評価と課題	児童館事業の運営にあたっては、職員一人ひとりの企画力、児童への対応能力などの力量が重要な要素です。そのために、人材育成検討のPTの立上げ(20年度)や職員研修体系の見直し(21年度)を行い、職員の資質向上に向けた研修を行った。職員構成面では、非常勤職員の割合が高くなってきており、優秀な人材の確保が課題となっている。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 見直した研修体系に沿って、障害者施設や他の児童館など他職場での体験研修を多様に取り入れた研修を実施し職員の資質の向上を図ることに努めました。また、非常勤職員の採用にあたって、区のHPをはじめ他の媒体(児童健全育成財団等)も活用して募集したり、区内教育機関に募集記事の掲示依頼をするなど人材の確保に努めました。		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするか) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ①引き続き実際的な研修項目を取り入れていくとともに、職員が能力を発揮し、資質の向上につながるような環境整備を工夫していきます。 ②多くの媒体を活用し、事業運営に必要な人材(非常勤職員)の確保を図ります。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 関係機関との調整が必要。	
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由	学童クラブ入会希望者が増加すると予想されており、パートタイマー等非常勤職員の配置増が見込まれるためです。

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		学童クラブ事業		款	4	項	2	目	1	事業	32	整理番号	287						
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		係名	管理係		連絡先電話番号		4402		昨年度整理番号	277							
上位施策No・施策名		28 子どもの育成環境の整備		予算事業区分				既定事業											
事業開始		昭和	▼	39年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業 分野		2	政策番号	2	施策番号	4	事業コード	18	<input checked="" type="checkbox"/>	行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/>		主要事業	
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 児童福祉法第6条の2 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例													
事務事業の概要		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 子どもたちがともに育つ中で、自らの可能性を發揮し、健やかに成長するよう支援します。 学童クラブを利用している保護者が安心して楽しく子育てができるよう支援します。		活動指標名(式)		(1) 入会児童数 (2) 入会障害児童数													
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○共働き等により保護者が留守となる家庭の児童に対して、一人ひとりが尊重され、安心して安全に過ごせる居場所を学童クラブで提供します。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標													
				成果指標名(1)		入会希望児童の入会率													
				算定式・指標の説明等		入会児童数÷入会児童申請数													
				成果指標名(2)															
				算定式・指標の説明等															
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%							
			実績	計画	実績	計画	実績												
指標	活動指標(1)	① 人	2,968	3,159	2,978	3,076	3,040	3,220	94.4	98.8									
	活動指標(2)	② 人	124	112	130	135	135	106	127.4	100.0									
	成果指標(1)	③ %	100	100	100	100	100	100	100.0	100.0									
	成果指標(2)	④																	
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	74,620	95,770	84,283	155,264	131,061	175,751	21年度予算執行率% 84.4										
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0				特記事項										
	(内)委託費	⑦ 千円	47,526	62,489	55,342	121,217	101,967	142,799	○4月1日現在学童クラブ待機児童数										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	82.55 10.00	77.70 12.00	81.28 10.00	78.58 12.00	81.10 10.00	76.96 10.00	18年度 4人 19年度 14人 20年度 30人 21年度 17人 22年度 20人										
	人件費	⑨ 千円	754,507	703,185	735,584	697,712	720,087	683,328	○学童クラブパート雇用人数										
	(内)非常勤職員分	⑩ 千円	27,700	33,600	28,000	33,516	27,930	27,930	18年度 102人 19年度 116人 20年度 139人 21年度 130人 22年度 118人(4月当初)										
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	856,827	832,555	847,867	886,492	879,078	887,009	※パート予算は、No.286「児童青少年センター・児童館事業の運営」に計上										
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫ 円	288,688	263,550	284,710	288,196	289,170	275,469											
	受益者負担分	⑬ 千円	86,623	99,699	86,785	93,266	87,786	97,995											
	国からの補助金等	⑭ 千円	3,341	0	0	0	0	0											
都からの補助金等	⑮ 千円		3,781	4,303	5,781	5,816	5,816												
その他の補助金等	⑯ 千円		0	0	0	0	0												
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰ 千円	89,964	103,480	91,088	99,047	93,602	103,811												
差引:一般財源(⑰-⑬)	⑱ 千円	766,863	729,075	756,779	787,445	785,476	783,198												
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲ %	10.1	12.0	10.2	10.5	10.0	11.0												

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 287

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	学童クラブ委託	5	所		98,052
	民間学童クラブ運営助成	2	所		13,886
	おやつ代助成	751	人		14,144
	その他 ( )				4,979
(2)事業実績	学童クラブへの入会希望者は年々増加傾向にあり、平成21年度当初も17人の待機児童が発生しました。年度途中には解消しましたが、今後はさらに学童クラブ需要は増加する見込みです。また、社会福祉法人へ委託している学童クラブについては、情報提供などの支援を通じて安定した運営を行うことができ、モニタリングにおいても良い評価が得られました。民間学童クラブについても、補助金による助成を行い、需要の多い地域での安定した運営が図れました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童数について、ほぼ変化がないにも関わらず、学童クラブ入会希望者数及び入会者数は増加傾向にあります。このため、第二学童クラブの設置、施設改修による定員増及び学童クラブ登録制を実施しました。入会希望者の多い一部の学童クラブは、施設の規模ぎりぎりの受入状態が続いており、既存の施設を利用した学童クラブの実施が困難になっています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	保護者からは、学校から離れた場所にある学童クラブについては、学校内へ移転して欲しい。職員は子どもたちに丁寧に対応して欲しい。利用時間を延長して欲しいなど、安全・安心面からの要望が多くなっています。			
	今後の予測	共働き世帯の増加等により、入会児童数は、今後も増加が見込まれます。			
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	共働き等により留守家庭となる児童の増加に伴い、学童クラブへの入会希望者は、年々増加傾向にあります。このことから児童の安全確保・健全育成を担う学童クラブへの期待と役割は大きくなっています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	今後も学童クラブ入会希望者は継続して増加することが予測されます。施設整備、パート職員の配置等の予算増が必須です。			
	②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	入会希望者の多い学童クラブから、第二学童クラブの設置及び施設改修を行い、入会可能児童数を増加させる環境作りが必要となっています。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)	コストに見合った利用料のあり方について検討を行い、適正化を図ります。			
(4)コストを下げる余地はあるか ある[民営化・外部委託化](具体的内容→)	学童クラブ運営を段階的に社会福祉法人など民間の運営に委ねていきます。				
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%未満に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	学童クラブへの入会希望者は年々増加傾向にあり、放課後の児童に適切な遊び及び安心感のある生活の場を提供して、その健全な育成を図る学童クラブへの期待と役割は大きくなっています。こうした中で、登録制の実施、第二学童クラブの設置、民間学童クラブへの支援など、当面の需要増対策では一定の成果を上げています。今後は、近年の保育需要の急増も踏まえ、中長期的な展望の下で、学童クラブ需要に的確に対応した対策を進めることが課題となっています。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	増大する学童クラブ需要、より安全・安心な居場所づくりへのニーズに応えるため、第二学童クラブの新設及び第二学童クラブの移設に伴う定員増を行いました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするか) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	学童クラブの需要増に伴う待機児解消策として、小学校の余裕教室、児童館など公共施設の有効活用を図るなど、様々な形態を考慮し実施します。また実施にあたっては、放課後子どもプランに基づく放課後子ども教室との連携を含め取り組んでいきます。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	需要増対策が必要な学童クラブでは、対応小学校の児童数も多く、余裕教室の活用が図れない場合が多くなっています。従来にはない手法の導入や転用可能な区有地等への設置など、新たな対応策を検討する必要があります。								
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	● 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	今年度策定する子ども子育て後期行動計画における目標事業量に対応する具体的な需要増対策を計画化し、実施します。							



# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		児童健全育成事業		款	4	項	2	目	1	事業	33	整理番号	288
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		係名	児童館運営係		連絡先電話番号		4402		昨年度整理番号	278	
上位施策No・施策名		28 子どもの育成環境の整備		予算事業区分				既定事業					
事業開始		昭和	▼	41	年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		18歳未満の児童及び保護者		根拠法令等		(1) 児童福祉法1～7、35、40、45条 (2) 杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則					
事務事業の概要	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		活動指標名(式)		(1) 児童館年間延べ行事参加者数 (2) ゆう杉並の講座・講演会開催回数及び自主企画実施回数								
	○児童館事業を通じ、児童の自主性、社会性、創造性を培い、健やかな成長を支援します。 ○ゆう杉並の中高生の自由な居場所としての機能をさらに充実させるとともに、中高生が仲間との交流や自主企画事業の実施を通じ、社会適応能力を育める場所とします。		事業の目標		※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		成果指標		成果指標名(1) 行事参加率 算定式・指標の説明等 年間行事参加者数÷年間児童館利用数 成果指標名(2) ゆう杉並の講座・講演会参加者数及び自主企画参加者数 算定式・指標の説明等									
○児童館は自由利用のほか、定例活動(工作、調理等)や、特別行事(スポーツ大会・遠足・講演会・祭り・キャンプ等)を行っている。 ○ゆう杉並では、中高生の自由な居場所として機能に合わせ、自主的に事業を企画実施することへの支援および運営への参画の推進をしている。		成果指標		※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標									
		成果指標名(1)		行事参加率									
		算定式・指標の説明等		年間行事参加者数÷年間児童館利用数									
		成果指標名(2)		ゆう杉並の講座・講演会参加者数及び自主企画参加者数									
		算定式・指標の説明等											
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%	
			実績	計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	① 人	282,183	284,000	278,970	283,000	188,569	283,000	66.6	66.6			
	活動指標(2)	② 回	441	450	414	450	530	540	98.1	117.8			
	成果指標(1)	③ %	27	28	26	28	20	26	76.9	71.4			
	成果指標(2)	④ 人	6,108	5,000	5,144	5,300	6,663	6,800	98.0	125.7			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	27,663	29,571	26,058	30,224	26,179	28,347	21年度予算執行率% 86.6				
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦ 千円	1,181	1,255	1,118	1,327	1,057	1,284					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	96.50 67.30	90.64 68.30	94.40 67.30	91.47 68.30	93.81 67.30	91.01 67.30					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	882,010	820,292	854,320	812,162	832,939	808,078				
		(内)非常勤職員分	⑩ 千円	186,421	191,240	188,440	190,762	187,969	187,969				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	1,096,094	1,041,103	1,068,818	1,033,148	1,047,087	1,024,394					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫ 円	3,884	3,666	3,831	3,651	5,553	3,620					
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭ 千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮ 千円		0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯ 千円		0	0	0	0	0					
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰ 千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源⑪-⑰		⑱ 千円	1,096,094	1,041,103	1,068,818	1,033,148	1,047,087	1,024,394					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 288

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	児童青少年センター事業	530	回		3,941
	児童館中・高校生事業	102	回		1,661
	児童館事業	9,425	回		20,577
	その他 ( )				0
(2)事業実績	○各児童館では料理・工作・スポーツ・野外活動・宿泊行事・高齢者との交流・伝統行事など、多様で楽しい遊びや活動を行い、様々な人と出会いふれあう機会や豊かな経験の機会を提供しています。○障害児利用促進重点館を20館とし、障害児の利用を促進し、交流できる多彩なプログラムを提供しています。○児童青少年センターでは中学生による自主企画事業、各種初心者向け講座、思春期講座、利用者懇談会、スポーツのつどい等を実施しています。また、中・高校生運営委員会の活動援助や、支援が必要な中学生への個別対応を行っています。				
事業開始当初から現在までの変化	児童館設置数(各年12月31日現在):昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年~41館 18歳未満児童数(1月1日現在):昭和61年=98,222人、平成12年=62,023人、平成21年=60,315人 ゆう杉並は平成9年9月開設以来11年間、小学生や幼児親子等を含めた年間利用者総数は5.6~6.7万人前後で推移しています。21年度は、20年度と比較して中学生が4%減り高校生は15%増えました。				
事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	子どもの安全を脅かす事件の多発により、保護者の不安感が高まっており、子どもの安全・安心して過ごせる居場所として児童館への評価は高くなっています。児童館での預かりを希望する声もあります。ゆう杉並に対しては「自分のやってみることができる」「新しい仲間が増える」「気軽に相談ができる場所」「将来に役立つ経験ができた」「音楽機材を改善してほしい」「今まで知らなかった」等の声が聞かれました。				
今後の予測	問題を抱えている子どもだけでなく、子育てに困難を感じている親への支援がより必要となり、虐待や養育困難家庭への対応が求められています。ゆう杉並の中学生にとっての自由な居場所、活動の拠点としての需要は、今後も増していくと思われます。とりわけ、自主企画事業の支援の強化をしていく中で、自己実現が可能な施設としての役割が求められました。また、不登校やひきこもり等の個別課題を抱えた対象者への支援では、仲間作りができる居場所型の施設としての機能に、その期待が高まるものと予測されます。				
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	児童の健全育成を目指す児童館事業は、子育て支援、中学生事業等年々充実度を増しています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	現状の事業費でも、事業内容を工夫し成果を向上させることができます。  課内研修、担当者会での実践交流による情報交換や、運営マニュアルの活用により、事業内容を見直し、より効果的な内容に改善していきます。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	行事の中で参加者に利益が還元されるものは実費分の負担を導入しています。利用対象が18歳未満であり、児童館の利用の主体は小学生であることから、受益者負担は困難です。			
(4)コストを下げる余地はあるか ある[民営化・外部委託化](具体的内容→)	ニーズは多様化、増大しており、一定の事業費が必要です。				
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[事業協力]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	すでに児童館プログラムの一部は、地域の関係者やNPO、ボランティア、地域の子育て支援グループの協力により実施されています。今後は地域の子どもと子育てを醸成していく観点から、より地域の区民・NPOの参画を進め、協働で児童館を運営していく方向です。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	「人材育成検討部会報告」「詳細検討作業グループ報告」に基づき、新任、3年目、7年目、10年目の職員を対象に必須研修を実施しました。研修の講師にはベテラン職員を登用しました。2年目の職員を対象に形態の違う児童館業務に携わる実習研修を実施しました。養育困難家庭支援、発達障害児対応、虐待対応、ネットワーク事業推進子育てコーディネート能力向上の選択研修を実施しました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どういつかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	①具体化計画積み残し課題検討を職員参加で実施。②地域の子育て支援の拠点としての機能強化③協働等の推進とコーディネート機能の強化。④ゆう杉並においては 高校生の利用増及び登録グループ数の増加。個別の課題を抱える中学生支援を関連機関と連携し進めます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	①学校や地域のさまざまな取り組みとの連携②専用スペースの整備や職員のスキルアップ③1小学校区に1児童館ある利点を活かしたネットワーク拠点としての機能強化。④児童館を中心とした子育て支援全体の企画運営のほか、子育てコーディネーターとしての役割強化⑤中学生の情報収集方法の工夫。ホームページを充実。直接的なPRの機会を増やす。							
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	①研修の実施と並行し、「OJTの手引き」を作成普及し、各館のレベルアップを図ります。②ゆう杉並では各種講座・講習の見直しより、自主企画事業数の増加を吸収し増減はない予定です。							

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		児童青少年センター・児童館の維持管理		款	4	項	2	目	2	事業	2	整理番号	295
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		係名	管理係		連絡先電話番号		4402		昨年度整理番号	284	
上位施策No・施策名		28 子どもの育成環境の整備		予算事業区分				既定事業					
事業開始		昭和	▼	41	年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		児童青少年センター・児童館・学童クラブ、18歳未満の児童及び保護者、センター及び児童館職員、地域住民の団体		根拠法令等		(1) 児童福祉法第1～4、7、35、40、45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則					
事務事業の概要	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		適切な維持管理等により安全かつ快適に利用できる施設とします。		活動指標名（式）		(1) 年間延べ利用者数(センター及び児童館) (2) 開館日数(センター及び児童館)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		○施設維持管理における契約事務、履行確認、支払事務 ○施設運営における事務用物品等経費の執行事務		成果指標		※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標						
				成果指標名(1)		一日あたり平均利用者数							
				算定式・指標の説明等		利用者数÷開館日数							
				成果指標名(2)		年間修繕件数							
				算定式・指標の説明等		センター及び児童館							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%	
			実績	計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	① 人	1,412,164	1,430,000	1,404,762	1,430,000	1,200,763	1,420,000	84.6	84.0			
	活動指標(2)	② 日	13,878	13,917	13,905	13,917	13,148	13,917	94.5	94.5			
	成果指標(1)	③ 人	115	105	100	105	91	105	86.7	86.7			
	成果指標(2)	④ 件	400.0	490.0	337.0	490.0	285.0	490.0	58.2	58.2			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	275,234	295,907	291,928	276,638	264,380	267,012	21年度予算執行率% 95.6				
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦ 千円	145,340	166,959	164,074	154,740	148,539	155,440					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	26.45   4.10	24.88   4.10	26.21   4.10	25.29   4.10	26.23   4.20	25.35   4.20					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	241,753	225,164	237,201	224,550	232,896	225,083				
		(内)非常勤職員分	⑩ 千円	11,357	11,480	11,480	11,451	11,731	11,731				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	528,344	532,551	540,609	512,639	509,007	503,826					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫ 円	374	372	385	358	424	355					
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	1,137	5,333	6,765	4,977	4,953	7,409				
		国からの補助金等	⑭ 千円	1,181	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮ 千円		0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯ 千円		0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰ 千円	2,318	5,333	6,765	4,977	4,953	7,409					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱ 千円	526,026	527,218	533,844	507,662	504,054	496,417					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳ %	0.2	1.0	1.3	1.0	1.0	1.5						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 295

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	施設保守管理委託	51	施設		140,305
	施設修繕費	51	施設		33,455
	光熱水費	51	施設		65,428
	その他 ( )				25,192
(2)事業実績	設備保守管理契約及び施設修繕や机・イスなどの備品類の計画的な購入を行いました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童館設置数(各年12月31日現在) 昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年~41館 児童青少年センターは、平成9年に全国に先駆け中高生のための児童館として竣工し、児童健全育成の拠点として事業を展開し、区民からも認知されています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	センターは事業開始時から関係機関・マスメディアからの視察、問合せが相次いでおり、各方面から注目されています。児童館は設置から30年以上経過しているものもあり、外壁の汚れ、屋上防水の劣化による漏水、床材や内壁の剥離、設備面では排水管の詰まりによる悪臭、冷房設備の不足といった不具合が生じており、それらに対する苦情・指摘等を受けています。また、障害児の利用しやすい環境整備も求められています。			
	今後の予測	センターの施設管理費は、経年劣化に伴い、通常の施設管理費に加えて修繕費が増加し、運営についても中高生の安全な居場所確保の重要性は増します。また、児童館は順次古い館からの建替え若しくは大規模修繕が必要です。更に、多様化する区民ニーズに対応できる環境整備が必要です。			
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	少子化や遊び場の減少、また、子どもたちを取り巻く様々な危険が発生している現在、区民が安心して子育てができるまちづくりには、安心して遊べる場所、気軽な相談窓口が必要です。また中高生の居場所、活動拠点が求められる中、センター・児童館の存在価値は高いものと考えています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	施設、設備の老朽化により多くの箇所不具合が生じています。			
	②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	設置から30年以上経っている施設もあり、障害児や乳幼児親子への対応など、利用者のニーズにあった施設の建替えや改修が必要です。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	目的外利用者を除き、主たる施設利用者が18歳未満の児童であり、児童厚生施設の設置目的からも受益者負担は不適切と考えています。			
(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	施設の老朽化に伴い維持経費が増加しています。				
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	学童クラブ入会希望児童数の増加や、児童館事業の協働の推進などによる業務の委託化などにより、既存施設を改修する必要が生じた結果、施設改修経費が増加しました。今後も、学童クラブの入会需要は増加傾向にあるため、施設の老朽化対応と合わせ、施設改修経費が増えることが確実です。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	障害児、乳幼児親子の利用しやすい環境整備を目標とし、空調機を設置(18年度:4館 19年度:5館 20年度:2館 21年度:5館)するとともに各室の整備を行いました。22年度以降も計画的に設置、整備していく予定です。また、学童クラブの登録児童数の増加に伴う育成室の改修も必要となっています。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	建築年数の古い児童館は、障害児・乳幼児親子のための施設づくりがなされていないため、今後既成の施設の中で整備を進める形となります。施設全体が狭く、老朽化する中での整備であるため使用が少ない部屋を積極的に他室と兼用し、空いた部屋を効率的、計画的に改修する必要があります。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	施設の改修が比較的大規模になるため、予算措置が必要になったり、児童館の休館(学童クラブの代替施設探し)が必要になることがあります。また、館内の改修が難しく拡張ができない場合もあり、個別の館ごとに、施設のあり方についてさまざまな観点から検討する必要があります。								
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	施設の老朽化に伴い、維持経費が増える傾向にあります。また、学童クラブの登録制による利用者増や、乳幼児親子・障害児の利用しやすい施設の整備に伴い、育成室の拡張や空調機の設置が必要となってきています。そのため、建替えを含めた長期的な計画が必要となります。							

## 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		児童館の耐震改修		款	4	項	2	目	3	事業	9	整理番号	299	
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		係名	管理係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	292		
上位施策No・施策名		28 子どもの育成環境の整備		予算事業区分				既定事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			施設管理		根拠法令等 (1) 児童福祉法第45条 (2) 区立施設の耐震化整備プログラム							
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 施設の耐震診断を行い、安全に施設を利用できるようにします。			活動指標名(式)		(1) 耐震診断が必要な児童館 (2) 耐震改修が必要な児童館							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○耐震診断が必要な3児童館について、診断を行い必要な場合は耐震工事を行う。 ○うち2児童館については平成22年度に改修を実施するため、基本設計業務を行う。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 診断実施児童館 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 耐震改修実施児童館 算定式・指標の説明等							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
			実績		計画		実績		計画		実績		目標値(目録値)	
指標	活動指標(1)	①	館		3	3	0	0	0	0				
	活動指標(2)	②	館				3	3	3	3	100.0	100.0		
	成果指標(1)	③	館		3	3	0	0	0	0				
	成果指標(2)	④	館				3	3	3	3	100.0	100.0		
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	0	2,896	2,856	3,940	2,759	74,000	21年度予算執行率% 70.0				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	2,487	2,447	3,940	2,759	74,000	特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	0	2,487	2,447	3,650	2,469	74,000					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.00 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.00 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	91	91	0	89	89				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	2,987	2,947	3,940	2,848	74,089					
	単位あたりコスト	⑫	円		166,667	166,667								
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭	千円		0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円		829	816	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0					
特定財源計		⑰	千円	0	829	816	0	0	0					
差引:一般財源		⑱	千円	0	2,158	2,131	3,940	2,848	74,089					
受益者負担比率	⑲	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 299

		内 容	規模	単位	事業費(千円)
21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	本天沼児童館・下高井戸児童館	2	所	2,469
		堀ノ内東児童館	1	所	290
		その他 ( )			0
(2)事業実績	本天沼児童館・下高井戸児童館について、平成22年度に耐震改修を行う必要があるため設計委託を行いました。堀ノ内東児童館は、区立保育園及び都営住宅と併設施設であることから、平成23年度改修に向けた調整を行いました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	耐震診断の基準の変更などに伴い、建設後約30年経過している児童館について平成20年に調査し、平成21年に設計委託、平成22年度に耐震改修を行うこととしました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	子どもの安心・安全のための児童館・学童クラブの運営について、区民から寄せられる期待は大きく、その施設を安心して利用するための、耐震改修に対する期待は高いものと考えています。			
	今後の予測	耐震改修の必要がある施設について設計委託を行い、同時に施設内の改修についても調整しました。それにより、利用者のニーズに応えることができる様になると考えています。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容 少子化や遊び場の減少、また、子どもたちを取り巻きさまざまな危険が発生している現在、区民が安心して子育てができるまちづくりには、安心して遊べる場所、気軽な相談窓口が必要であり、そのための児童館の耐震改修は重要です。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)		建物の安全性は耐震診断を行うことにより確認できるが、設備の老朽化による不具合については改修が必要となっています。		
	②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)		設置から30年以上たっている施設もあり、障害児や乳幼児親子への対応など、利用者のニーズにあった施設の建替えや改修が必要です。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)		目的外利用者を除き、主たる施設利用者が18歳未満の児童であり、児童厚生施設の設置目的からも受益者負担は不適切であると考えます。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)		必要な児童館のみが対象で、契約により行っているためコスト減は難しいと考えています。		
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 推進			
評価と課題	2児童館について、平成22年度に耐震改修を行う必要があるため設計委託、1児童館は区立保育園及び都営住宅と併設施設であることから、平成23年度改修に向けた調整を行いました。施設の設置後30年たっている施設であることから、耐震改修だけでなく施設内の改修についても行うことにより、区民の期待に即した施設として活用できるものと考えています。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	耐震診断を行った3児童館のうち、2児童館について平成22年度に耐震改修を実施します。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どういうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入								
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法								
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	区立保育園、都営住宅と併設の堀ノ内東児童館の改修が予定されています。							

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		(仮称)四宮森第二学童クラブの整備			款	4	項	2	目	3	事業	15	整理番号	303
担当部課名		保健福祉部児童青少年課			係名	管理係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	新	
上位施策No・施策名		28 子どもの育成環境の整備			予算事業区分			投資事業			新規事業			
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	21年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			施設管理			根拠法令等	(1) 児童福祉法第45条 (2) 杉並区児童青少年センター及び児童館条例					
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	入会需要の増加に対応するために第二学童クラブを整備します。						活動指標名(式)	(1) 学童クラブ新設 (2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	学童クラブ施設の建設						成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
		成果指標名(1)	学童クラブ受入枠の増減						算定式・指標の説明等		(新定員-旧定員)			
		成果指標名(2)							算定式・指標の説明等					
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画 (目標値)				
指標	活動指標(1)	①	所				1	1	0			100.0		
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③	人				50	50	0			100.0		
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円				36,525	33,167	0	21年度予算執行率%		90.8		
	(内)投資的経費等	⑥	千円				36,525	33,167		特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円				33,525	30,656						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人				0.09	0.00	0.09	0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	0	0	799	799	0				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	0	0	37,324	33,966	0					
	単位あたりコスト	⑫	円				799,000	799,000						
	財源	受益者負担分	⑬	千円				0	0					
		国からの補助金等	⑭	千円				0	0					
都からの補助金等		⑮	千円				0	0						
その他の補助金等		⑯	千円				0	0						
特定財源計		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源		⑱	千円	0	0	0	37,324	33,966	0					
受益者負担比率	⑬÷⑪	%				0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 303

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み  ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				新設工事	1
		その他 ( 備品・消耗品購入費 )			2,511
	(2)事業実績	今川2丁目に92.16㎡の学童クラブ(保育室併設)を整備しました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	学童クラブの需要は、この10年間に急増し、学童クラブの対象となる児童数そのものはほぼ横ばい状況にある中、学童クラブの登録児童数は約1.5倍(2,000人→3,000人)になっています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	児童を脅かす事件の多発などを背景に、児童の安全・安心な放課後の居場所としての学童クラブづくりが求められています。			
	今後の予測	母親の就労ニーズの高まりや、昨今の景気動向を反映しての未就学児の保育需要に見られるように、学童クラブ需要は今後も増加するものと予測されます。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓)		共働き等により留守家庭となる児童の増加に伴い、放課後の児童を安心して預けられる場所としての学童クラブ需要は年々増加傾向にあります。このことから児童の安全確保・健全育成を担う学童クラブへの期待と役割は大きいです。		
	②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)				
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)		子どもたちを取り巻くさまざまな危険が発生している現在、学校に隣接した場所の学童を利用することにより移動も少なく、区民が安心して預けることの出来る施設の整備が出来たとともに、需要増に対応できました。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)		施設の整備に関しては、受益者負担の考え方はそぐわないものと考えます。		
(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)		施設整備については、安全面、衛生面において必要で十分な設備にする必要があります。			
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方			
評価と課題					

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	○ 現状維持	● 減	コスト:	○ 増	○ 現状維持	● 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成22年4月1日に開設するための施設整備を行いました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入								
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法								
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増		○ 増	○ 増減なし		○ 減	○ 大幅減	● 予算なし
	(2)理由	施設整備が終了し、平成22年4月1日に開設したためです。							



## 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		下井草第二学童クラブの整備			款	4	項	2	目	3	事業	16	整理番号	304			
担当部課名		保健福祉部児童青少年課			係名	管理係			連絡先電話番号	4402			昨年度整理番号	新			
上位施策No・施策名										28		子どもの育成環境の整備			予算事業区分	投資事業 新規事業	
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	21	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 施設管理				根拠法令等	(1) 児童福祉法第45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例										
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○下井草第二学童クラブの土地借受期間満了に伴う、施設の移転のための新設工事を行い、また、入会需要の増加に対応するため、合わせて定員増を図ります。				活動指標名(式)	(1) 学童クラブ移設 (2)										
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) 学童クラブ施設の移設及び移設後の運営主体の民間委託に伴う事務用品、物品などの購入・支払い事務を行います。				成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標										
	成果指標名(1)	学童クラブ受入枠の増減				算定式・指標の説明等	(新定員-旧定員)										
	成果指標名(2)					算定式・指標の説明等											

区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)	目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%	
		実績	計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	①	所				1	1		100.0	
	活動指標(2)	②									
	成果指標(1)	③	人				15	15		100.0	
	成果指標(2)	④									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円				41,668	39,633	0	21年度予算執行率%	95.1
	(内)投資的経費等	⑥	千円				41,668	39,633		特記事項	
	(内)委託費	⑦	千円				39,973	37,994			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人				0.09	0.00	0.09	0.00	
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	0	0	799	799	0	
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	0	0	42,467	40,432	0		
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円				799,000	799,000			
	財源	受益者負担分	⑬	千円				0	0		
		国からの補助金等	⑭	千円				0	0		
都からの補助金等		⑮	千円				0	37,052			
その他の補助金等		⑯	千円				0	0			
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	37,052	0		
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	0	0	0	42,467	3,380	0		
受益者負担比率⑬÷⑪		%				0.0	0.0				

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 304

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み  ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				下井草第二学童移転に伴う新設工事	1
		その他 ( )			1,639
	(2)事業実績	下井草自転車集積場の私有地部分の借り替えを行い、184.30㎡の学童クラブを整備しました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	学童クラブの需要は、この10年間に急増し、学童クラブの対象となる児童数そのものはほぼ横ばい状況にある中、学童クラブの登録児童数は約1.5倍(2,000人→3,000人)になっています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	児童を脅かす事件の多発などを背景に、児童の安全・安心な放課後の居場所としての学童クラブづくりが求められています。			
	今後の予測	母親の就労ニーズの高まりや、昨今の景気動向を反映しての未就学児の保育需要に見られるように、学童クラブ需要は今後も増加するものと予測されます。			
事業のあり 方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓)		共働き等により留守家庭となる児童の増加に伴い、放課後の児童を安心して預けられる場所としての学童クラブ需要は年々増加傾向にあります。このことから児童の安全確保・健全育成を担う学童クラブへの期待と役割は大きいです。		
	②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)				
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)		子どもたちを取り巻くさまざまな危険が発生している現在、学校に隣接した場所の学童を利用することにより移動も少なく、区民が安心して預けることの出来る施設の整備が出来たとともに、需要増に対応できました。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)		施設の整備に関しては、受益者負担の考え方はそぐわないものと考えます。 施設整備については、安全面、衛生面において必要で十分な設備にする必要があります。		
協働等 点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方			
評価と課題		学校に隣接した場所に学童を移設することが出来たため、子どもの移動も少ないため、区民が安心して預けることの出来る施設の整備が出来たとともに、需要増に対応できました。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成22年4月1日に開設するための施設整備を行いました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由	施設整備が終了し、平成22年4月1日に開設したためです。	

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高円寺南児童館の改修		款	4	項	2	目	3	事業	81	整理番号	307			
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		係名	管理係			連絡先電話番号	4402			昨年度整理番号	295			
上位施策No・施策名		28 子どもの育成環境の整備		予算事業区分								投資事業				
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理					根拠法令等 (1) 児童福祉法第45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例									
	施設管理															
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	施設の老朽化に伴い、安全かつ快適に利用できる施設とするための改修を行います。					活動指標名(式) (1) 改修数 (2)									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○高円寺南児童館及び高円寺保健センター、営繕課など関連部署と工事等に関する調整のほか、学童クラブの一時移設に伴う小学校との調整等を行います。					成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 改修数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等										
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%				
			実績		計画	実績		計画	実績		(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	施設		1	1		1	1			100.0				
	活動指標(2)	②														
	成果指標(1)	③	施設		1	1		1	1			100.0				
	成果指標(2)	④														
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	0	2,485	883		115,053	114,591		0	21年度予算執行率% 99.6				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	2,267	883		115,053	114,591			特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	0	2,267	883		111,209	111,039							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.00 0.00	0.09 0.00	0.09 0.00		0.09 0.00	1.47 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	815	815		799	13,052		0				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0		0	0		0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	3,300	1,698		115,852	127,643		0					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円		1,033,000	815,000		799,000	13,052,000							
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0		0	0						
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0		0	0						
都からの補助金等		⑮	千円		0	0		0	108,406							
その他の補助金等		⑯	千円		0	0		0	0							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0		0	108,406		0					
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	0	3,300	1,698		115,852	19,237		0					
受益者負担比率⑬÷⑪		%		0.0	0.0		0.0	0.0								

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 307

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		高円寺南児童館改修	1	件	108,558
	その他 ( 消耗品・備品購入費 )				6,033
(2)事業実績	高円寺南児童館(高円寺保健センター併設)の給排水・外装などの老朽化に伴う大規模な改修を行いました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	建築後30年近くが経過し、給排水・外装など老朽化が著しく改修の寄せられる期待は高いものと考えています。			
	今後の予測	給排水・外装など老朽化が著しい箇所の改修を行い、施設を安全に利用することが可能となりました。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容 少子化や遊び場の減少、また、子どもたちを取り巻きさまざまな危険が発生している現在、区民が安心して子育てが出来るまちづくりには、安心して遊べる場所、気軽な相談窓口が必要です。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	老朽化している該当施設の給排水・外装などの修繕のため、次年度以降のメンテナンスコストの抑制が可能です。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	施設の改修に要する経費の支出であるため受益者負担はなじまないと考えます。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	改修設計のための委託であるため契約を通じており、コスト減は難しいと考えます。			
	協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)		
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 推進			
評価と課題	大規模改修で、給排水・外装など老朽化が著しい箇所の改修を行い、施設を安全に利用することが可能となりました。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	○ 現状維持	● 減	コスト:	○ 増	○ 現状維持	● 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	高円寺南児童館の改修が終了しました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入								
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法								
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	● 予算なし		
	(2)理由	平成22年3月に改修工事が完了しました。							

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		未成年者の飲酒・喫煙・薬物乱用の防止			款	4	項	5	目	1	事業	22	整理番号	333	
担当部課名		杉並保健所健康推進課			係名	健康推進係			連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	321		
上位施策No・施策名		28 子どもの育成環境の整備			予算事業区分				既定事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	17	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 健康増進法第25条 (2) 杉並区における喫煙対策指針								
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	未成年者・保護者および関係者に対して、飲酒・喫煙・薬物乱用防止の普及・啓発を行い、未成年者が飲酒・喫煙をしない、また、薬物に対する規範意識が高まり、薬物に安易に手を出さないようにする。			活動指標名(式)		(1) 未成年者の喫煙防止ポスター・標語の応募数 (2) 講演会参加者数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>○小学5年生から中学3年生に対し、喫煙防止標語・ポスターを募集し、優秀作品を表彰する。</p> <p>○未成年者喫煙防止ポスターを作成し、関係者及び施設に配布、掲示する。</p> <p>○飲酒・薬物乱用防止講演会を開催する。</p> <p>○学校・保健センター等への教材及び普及啓発用品の作成及び配布を行う。</p> <p>○7月、12月の年2回を強化月間とし、関係団体と連携しキャンペーンを行う。</p>			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
					成果指標名(1)		中学生の喫煙経験がある割合								
					算定式・指標の説明等		中学生の飲酒・喫煙経験調査(隔年ごと)								
					成果指標名(2)		中学生の飲酒経験がある割合								
					算定式・指標の説明等		中学生の飲酒・喫煙経験調査(隔年ごと)								
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	点	534	500	504	500	395	500	79.0	79.0				
	活動指標(2)	②	%	179	150	154	150	761	150	507.3	507.3				
	成果指標(1)	③	%	6	0	6	4	4	4	100.0	100.0				
	成果指標(2)	④	%	41.7	0.0	41.7	30.0	41.7	30.0	139.0	139.0				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	1,108	849	796	1,895	1,778	1,889	21年度予算執行率%		93.8			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	⑦	千円	0	96	83	212	182	166						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.34	0.10	0.34	0.10	0.34	0.20	0.12	0.40	0.06	0.10	0.11	0.10
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	3,108	3,077	3,077	1,065	533	977					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	277	280	560	1,117	279	279					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	4,493	4,206	4,433	4,077	2,590	3,145						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	8,414	8,412	8,796	8,154	6,557	6,290						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	947	947	944					
都からの補助金等		⑮	千円	/	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0						
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	947	947	944						
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	4,493	4,206	4,433	3,130	1,643	2,201						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 333

		内 容	規模	単位	事業費(千円)
21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	未成年者の飲酒・喫煙防止キャンペーン(ポスター・チラシの作成)	70900	枚	1,025
		飲酒・薬物乱用防止対策(普及啓発用品・教材・講演会の開催)	4	回	389
		喫煙防止対策(ポスター・標語募集・ポスター作成)	15400	枚	364
		その他 ( )			0
	(2)事業実績	小学校5年生から中学3年生に対し、喫煙防止ポスター及び標語を募集し、優秀作品を表彰、保健所及び区役所に作品を展示しました。また、優秀作品をもとに、カレンダーを作成し、学校・区内施設・青少年育成委員等関係者に配布しました。薬物乱用を防止するため、小学校・中学校で体験者や専門講師を招いて講演会を行いました。7月・12月には関係各課及び地域の関係団体と協働し未成年者の飲酒・喫煙防止キャンペーンを行いました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	未成年者への飲酒・喫煙対策については、対面販売で年齢を確認するなど業界の自主規制がこの数年大きく進んできています。また、未成年者のタバコの購入を抑制するため、平成20年度から成人識別カードが導入されました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	19年度に実施した区内中学1、3年生を対象とした飲酒・喫煙・薬物に関する意識調査の結果から、喫煙経験率は平成17年度に比較すると低下しており、特に、1年から3年に進級する期間に喫煙の経験は、ほとんど増えていません。また、全国と比較しても喫煙率は低くなっています。			
	今後の予測	今後、未成年者の酒類やタバコの販売に関しては、業界や地域でも規制が強化されると予測されます。しかし、一方では、以前に比較し薬物が身近で安易に手に入る状況があります。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容 児童・生徒・保護者および学校関係者に対し普及・啓発を行うことで、未成年の飲酒・喫煙・薬物乱用防止に貢献しています。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)		学校関係者と連携し、生徒・保護者・関係者に対し、防煙に対する知識を普及します。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)		区民に対する普及・啓発事業のため受益者負担になじみません。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)		現在のところ受益者負担や実施方法の変更がないため困難です。		
	協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)		
(3)協働等の形態 協働[事業協力]		(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題		未成年者の喫煙については、タスポカードの導入等、業界規制も進み、喫煙防止教育の実施や標語・ポスターの募集を通し普及啓発をはかることで、中学生の喫煙経験率は5.7%と非常に少なく、効果があがってきています。しかし、飲酒については徐々に減少してきていますが、まだ41.7%の中学生に飲酒経験があります。飲酒は周囲の大人から勧められることが多いため、地域全体への普及啓発、関係機関の連携を強める必要があります。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	21年度から、未成年者の飲酒・喫煙防止キャンペーンを予算化して行いました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	喫煙経験・飲酒経験とも順調に減少してきているため、現在の事業を継続します。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法								
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	喫煙経験・飲酒経験とも順調に減少してきているため、現在の事業を継続します。							